

ふるさととくぢ

8/19
出雲

8/21
八坂

目次

- 里山だより・徳地地域協育ネット通信…2P
- とくぢで輝く・じゃげな話…3P
- 徳地地域複合型拠点施設 …4P・5P
- 行政だより …6P
- 行事カレンダー・図書館だより…7P
- 総合支所情報局
- ふるさとへの軌跡・徳地のバス停探訪…8P



(2022年8月末現在)

大輪の花火が夜空を彩りました



表紙の写真から

夏を彩る花火の夜



佐波分校での様子

8月19日(金)に佐波分校グラウンドで、8月21日(日)に八坂で花火イベントがありました。

山々まで響きわたる音に日本の夏を感じながら見上げる人たちそれぞれの想いを乗せて夜空に花が咲きました。

(取材：河上特派員、徳地づくり達人塾)



チャレンジ カヌー教室

8月22日(日)ふれあいパーク大原湖キャンプ場で大人気イベント、カヌー教室が開催されました。ライフジャケットを着て準備体操、パドルの使い方の指導を受け、いよいよ水上へ。ぎこちなかった動きもみるみる上達、息ぴったり、まるでアメンボ?夏休み最後の日曜日を満喫した一時でした。

(取材：徳地づくり達人塾)



健康寿命を延ばします♪



やまぐちサッカー交流広場では、理学療法士の先生をお迎えして正しい体の動かし方などを教えていただく健康講座を開催しています。コロナ禍で少人数の開催ということもあって、みなさんリラックスした雰囲気の中で、専門家の指導を受けています。



講師の山内先生

この講座は10月にも開催します。ご興味のある方は、やまぐちサッカー交流広場(☎56-0888)へお問い合わせください。

(投稿：やまぐちサッカー交流広場)

熟議に向けて、小学生と中学生がオンラインで打ち合わせ!

今年度の取組の一つに、徳地の児童・生徒と地域の方々による熟議があります。

先日開催した合同研修会では、徳地地域の高校生、中学生、小学生(各校とも代表児童・生徒)と協議会委員とが「どんな徳地になってほしいか」というテーマで、徳地の今後について合同で熟議をしました。

熟議前に実施したオンライン打ち合わせでは、「『徳地のよいところ』『残したい・残ってほしいもの』『徳地の課題』について、自分の意見を持って臨もう」と中学生が呼びかけを行うなど、頼もしさを感じる一幕もありました。

熟議当日、徳地の将来を担う後継者となる「笑顔あふれる徳地っ子」の奮闘ぶりについては、次回ご紹介します。



徳地中代表生徒とオンラインでつながっている各小学校児童の様子

徳地地域協育ネット通信

みんな大好き
ふるさと徳地



とちで輝く

夢を拓く老舗菓子店3代目

なかや菓子店

代表 松尾 順子さん(44)



■代々受け継がれた老舗

創業は、明治元年。当時の記録が残って無い為、定かではないが、順子さんの曾祖父が開業し、当初はお菓子から始まり、次に出雲大社参拝者のお土産用に饅頭を開発したと聞いているそうです。その後、祖父母に受け継がれ、旧島地温泉開業時に温泉客のお土産用に現在の「温泉まんじゅう」に進化したと聞いているそうです。

■青天の霹靂

順子さんは、中学校卒業後、山口市内の高校に通学していました。大学卒業後医療関係に就職し、徳地とは無縁の生活を送っていました。貴仁さんと結婚、夫の実家である

防府の松尾家で同居生活をはじめました。しかし、長男が誕生したことで、生活に大きな変化が生じます。当時は、家族全員仕事に就き夫婦どちらも深夜勤務もあり、子供を育てることが厳しくなりました。

「徳地へ帰ろう！」夫貴仁さんのひと言で共に退職し、順子さんの実家、松尾家へと生活の拠点を移すことになりました。大切な我が子を育てるため人生最大の決断です。

■幸せぶりん開発秘話

貴仁さんは、温泉まんじゅうの製造など手伝いながら蒸す工程で使用している「せいろ」を使い何かできないかと考え、多くの人に親しまれるプリンを開発を決意。徳地の特産品のカワラケツメイ茶や卵をふんだんに使い、差別化を図りました。試行錯誤の末、食べて幸せを感じて欲しいと願いを込め「幸福ぶりん」が誕生しました。

■代表就任への決意

長年、なかや菓子店を一人で守り続けてきた祖母も高齢となったこともあり、令和元

年12月、順子さんが代表に就任しました。

事業承継にあたり、せいろは、電気式に取替え量産可能に、温泉まんじゅうの決め手である餡は、手間暇を惜しまず丁寧に練りあげますが、包装は機械化し、こちらも時間短縮できるようにしました。これまで1種類だけだった、温泉まんじゅうも春の桜、秋の栗など種類も増やしました。幸福ぶりんも貴仁さんから伝授、新商品開発も手掛け続々販売中です。また、今年度中には、店内の改装工事も予定され、カフェも考えているそうです。もつと徳地を知ってほしい、もつと島地に来てほしいとキラキラ輝いていて、オーラが眩しすぎました。

(取材：徳地づくり達人塾)



晋作危機一髪！ 徳地脱出の道

～松下村塾の塾生が多い堅田家支記の地を抜けて～

◆湯野温泉の性梅院墓地を訪ねる

こないだのおく、徳地史談会代表のY先生の案内で仲間と周南市湯野の堅田家累代の墓を訪ねたせえや。湯野温泉の町中を抜けて山田家本屋のそばにある性梅院というお寺の墓地にあるんじや。いや、すげーたいしたお墓じゃったのお。さすがじゃの、毛利家の重臣ちゅうのんは。



堅田家累代の墓 (周南市湯野、性梅院)

◆萩から山口、徳地、富海、下関、そして福岡へ
元治元年(1864年)10月末、椋梨藤太など俗論派に追われる高杉晋作は、萩を脱出し、山口の井上聞多を見舞い、諸隊解散命令を蹴った奇兵隊が駐屯している徳地の正慶院に軍監山県有朋を訪ねた後、島地に泊まり湯野を抜け、富海から早船で下関へ。その後、福岡の野村望東尼のもとに逃げました。

◆戸田小学校初代校長に

堅田家にあの、萩の松下村塾に何と26名もの塾生がおったんてや。へーじやから、晋作は正義派の仲間が多い湯野を抜けて逃げたんじやろのお。すげーおもしろい話じやろが。松下村塾に入った多くの家臣の中にやあの、戸田小学校の初代校長、竹下琢磨さんもいたんてや。

(出典：松下村塾開塾150年記念出版委員会発行、

「吉田松陰と塾生たち」

(執筆：池田特派員)



徳地地域複合型拠点施設内部

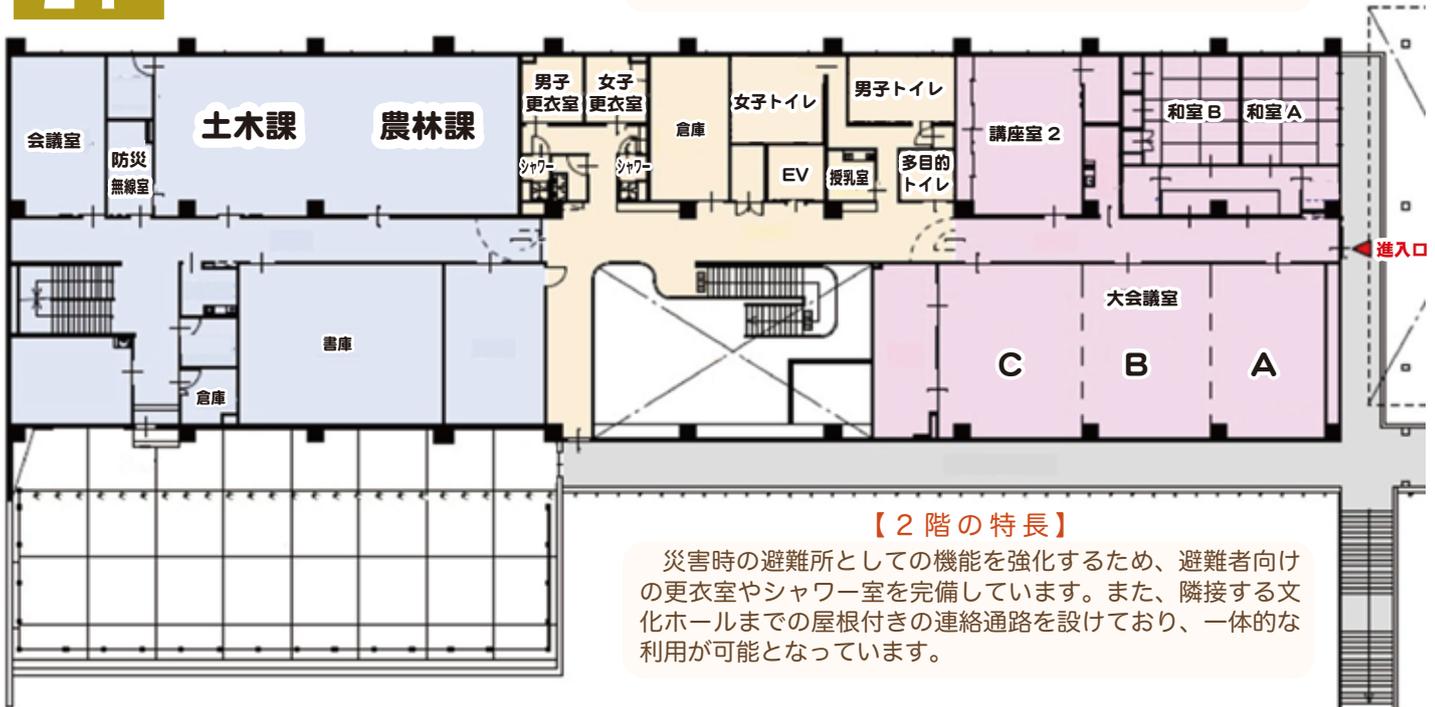
1F



【1階の特長】

ロビーは吹き抜けで開放感があり、小さなお子様向けのキッズコーナーや2階へスムーズに移動できるようエレベーターを完備しています。また、総合サービス課のカウンターや施設内のベンチには錦帯橋や皇居の新宮殿に使用された銘木「滑松」、階段のフェンスには「徳地和紙」を使用しています。

2F



【2階の特長】

災害時の避難所としての機能を強化するため、避難者向けの更衣室やシャワー室を完備しています。また、隣接する文化ホールまでの屋根付きの連絡通路を設けており、一体的な利用が可能となっています。

落成記念式典の開催について

11月20日(日)に落成記念式典を開催します。

当日は、記念式典の後、消防音楽隊による演奏やもちまきが予定されていますのでぜひお越しください。

詳細はふるさととくち11月号でお知らせします。

行政だより

あいあいサークル「ミニミニ運動会」 参加者募集

ルールも学びながら楽しく遊みましょう。

- ◎日 時 令和4年11月16日(水)
10時00分～11時30分
- ◎場 所 徳地地域複合型拠点施設
- ◎対象及び定員 未就園児とその保護者7組(先着順)
- ◎内 容 0歳からでも楽しめる親子競技
- ◎参加費 無料
- ◎持参品 水分補給用の飲み物、マスク(着用)
- ◎申込〆切 11月11日(金)まで

申込先・問合せ先

総合サービス課 健康づくり担当

☎52-1114 FAX 52-0444

*新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、中止または内容を変更する場合があります。ご了承ください。

令和4年度 移動市長室 「やまぐち元気・未来トーク」

地域の皆さんと市長が語り合う移動市長室「やまぐち元気・未来トーク」が開催されます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として徳地地域づくり協議会役員との懇談となります。一般の方の参加や傍聴は出来ませんのでご了承ください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

- ◎開催日 令和4年11月24日(木) 15:30～16:45
 - ◎会 場 徳地地域複合型拠点施設(徳地地域交流センター)
 - ◎内 容 市政報告、市政や地域づくりに関する懇談
- 問合せ先 徳地地域交流センター ☎52-0217

交通政策課からのお知らせ

10月1日ダイヤ改正により、防府駅前から堀へ向かう路線バスについて、下記の便の時刻が変更となりました。徳地地域内のその他のダイヤについては変更ありません。

| | (旧) | (新) | (旧) | (新) |
|-------|-------|---------|-----|----------------------|
| 防府駅前発 | 13:33 | → 13:35 | 堀着 | 14:11 → 14:13 (中山経由) |
| | 14:05 | → 14:10 | | 14:38 → 14:43 (和字経由) |

*各停留所の時刻は、防長交通のホームページ又は「山口市総合時刻表」にてご確認ください。

問合せ先 交通政策課 ☎083-934-2729

こころの健康づくり講演会

- ◎日 時 12月2日(金) 14時～16時
- ◎場 所 徳地地域複合型拠点施設
- ◎内 容 講演会
1. うつ病の予防
～こころの不調と対処法～
2. 元気に長生き 健康長寿の秘訣
～食事と睡眠の大切さ～
- ◎講 師 末次 正治氏
(茜会 脳神経筋センター よしみず病院医師)
- ◎対 象 市民30名
*先着順・要事前申込
*手話が必要な方は11月15日までに
お知らせください。

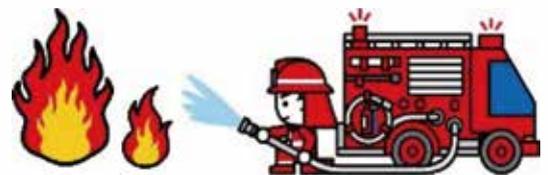
申込先・問合せ先

総合サービス課 健康づくり担当

☎52-1114 FAX 52-0444

*11月1日(火)から受付を開始します。

『秋の火災予防運動実施中』 11/9～11/15



火災の発生しやすい季節です。
火の取扱いには十分注意しましょう!!

山口市では、草焼きからの火災が多く 発生しています

草焼き等、火災とまぎらわしい行為を行う場合は、中央消防署徳地出張所への届出が必要です。

また、中央消防署徳地出張所では、秋の火災予防運動の実施に伴い、徳地地域の保育園の園児のみなさんが描いた防火作品(ぬり絵)をマルキュウ徳地店で展示します。

展示期間: 令和4年11月1日(火)～11月15日(火)

問合せ先 中央消防署徳地出張所 ☎53-0119

行事カレンダー (10月15日～11月14日)

10月

- 19 水 **認知症家族会 (やすらぎの会)**
(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
- 25 火 **健康相談 (串分館)**
(問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114
- 30 日 **出雲地区ラジオ体操・ウォーキング**
(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217

11月

- 3 木 **狗留孫山トレッキング～紅葉狩りと観音巡り**
(問) 森林セラピー山口 ☎56-5234
- 6 日 **徳地文化展**
(問) 徳地文化協会事務局 ☎52-0217
- 6 日 **徳地フェスティバル2022**
(問) 徳地フェスティバル2022実行委員会 ☎52-0217
- 8 火 **憩いステーションとくち (徳地保健センター)**
(問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832
- 9 水 **育児相談 歯科相談、ブックスタート併設 (徳地保健センター)**
(問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114
- 10 木 **健康相談 栄養相談併設 (徳地保健センター)**
(問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114
- 13 日 **ちいさな森カフェ**
(問) 森林セラピー山口 ☎56-5234
- 13 日 **出雲地区ラジオ体操・ウォーキング**
(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
- 13 日 **第13回ふるさと探訪 in 串**
(問) 徳地地域交流センター串分館 ☎54-0222

◆◆図書館だより◆◆ ☎52-0043

【新しく入った資料】

- ◎文学 素晴らしき国/小路 幸也
- ◎一般書 阿川佐和子のこの断家に会いたい/阿川 佐和子
- ◎実用書 たった10秒!子ども筋トレで能力アップ!/高林 孝光
- ◎ティーンズ 『呪術廻戦』で英語を学ぶ!/芥見 下々, 北浦 尚彦
- ◎物語・児童書 まちのおばけずかん ハイ!/斉藤 洋, 宮本 えつよし
- ◎絵本 フランクとパートのだいすきかくれんぼ/クリス・ネイラー・パレストロス

【企画展示】

- ◎今月のテーマ 秋の夜長に一冊の本を。
- ◎絵本 秋がいっぱい
- ◎一般 世界散歩 ～アジア編～
- ◎児童・ティーンズ 名前

【お知らせ】

「ストーリーテリングのつどい」
日時: 10月15日(土) 10時～12時
会場: 山口市立徳地図書館 視聴覚室
助言・解説: 山本 安彦氏 (山陽小野田市立中央図書館 館長)

「とくち図書館まつり」
日時: 11月6日(日) 9時～16時
催し: ブックリサイクル、お楽しみ抽選会、おはなし会 など

休 図書館 10月/17・24・27・31
休館日 11月/3・7・14

子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 10月21日(金) つくってあそぼう
- 10月25日(火) たんじょう会
- 10月27日(木) めぐみ先生の簡単レシピ
- 10月28日(金) ハロウィンを楽しもう!
- 11月10日(木) 楽しく食育

島地保育園内子育て支援室 のびっこ島地予定 ☎54-0563

- 10月26日(水) 新聞紙で遊ぼう(ファッションショー)
 - 11月9日(水) 誕生日カードを作ろう
- 両日とも園庭開放しております。

総合支所情報局

【新体力テスト】

9月8日(木)、新体力テストが徳地体育館で実施されました。

テストは年齢に応じて6種目(握力、長座体前屈、上体起こし、反復横とび、立ち幅とび、20mシャトルランや6分間歩行等)で行われ、自分の体力年齢を客観的に確認することができるもので、参加者は各種目に意欲的にチャレンジしました。

新体力テストは毎年秋に実施しています。健康づくりにも役立ちますので気軽にご参加ください。

問合せ先 徳地地域交流センター ☎52-0217



テストの様子(左:長座体前屈、右:上体起こし)

+ 休日・夜間診療のご案内(防府市内)

*山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】(受付8:30～11:30、13:00～16:30)
防府市休日診療所(鞠生町)☎0835-24-4172

【歯科】(受付8:30～11:30)
防府市休日診療所(鞠生町)☎0835-24-4172

【外科】当番医療機関(診療9:00～17:00)

- 10月16日(日) うちみち脳神経科(石が口) ☎27-5880
- 23日(日) 木村整形外科(岸津) ☎38-1181
- 30日(日) 寿町クリニック(寿町) ☎27-5577
- 11月3日(木) くらしげ整形外科(田島) ☎25-0076
- 6日(日) しみず医院(栄町) ☎38-8883
- 13日(日) 三田尻病院(お茶屋町) ☎22-1110

【夜間救急病院】(平日、休日にかかわらず)

| 病院名(場所) | 電話番号 | 10月・11月の開設日 | | | | | | |
|----------------------|------|-------------|----|----|----|---|----|----|
| 松本外科病院(天神) ☎22-1409 | | 15 | 20 | 25 | 30 | 4 | 9 | 14 |
| 防府胃腸病院(駅南町) ☎22-3339 | | 16 | 21 | 26 | 31 | 5 | 10 | |
| 桑陽病院(車塚町) ☎23-1781 | | 17 | 22 | 27 | 1 | 6 | 11 | |
| 緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145 | | 18 | 23 | 28 | 2 | 7 | 12 | |
| 三田尻病院(お茶屋町) ☎22-1110 | | 19 | 24 | 29 | 3 | 8 | 13 | |

上記の行事につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、中止又は延期となる場合があります。詳しくは上記各行事の問合せ先にご確認ください。

徳地のバス停探訪



横山 (野谷)

徳地と言えばきれいな水。大原湖や佐波川があることが魅力の一つだと思います。

大原湖の上流はしばらく工事をしていて、道路がきれいになっていました。バス停からは、大原湖に流れる川とそれを囲む壮大な緑を見ることができて、何時間でもバスを待つことができる気がします。

都会に住んでいると、何もしていない時間がダメなことに感じる事があったのですが、自然に囲まれていると、何もしていないことが正解だと思えてきます。景色を見て、聞こえてくる音に耳を澄ませるだけでリフレッシュできる。最強の場所なんじゃないかと思います。

疲れたり悩んだりしたときは、まず外に出て、何もしないをしていこうと思います。(河上特派員)

写真や情報をお寄せ下さい

地域の景色や行事など、あなたの知っている徳地の素敵など、**人・モノの写真や情報**を徳地地域づくり協議会まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくぢ」のほか「徳地地域づくり協議会HP・FB」でご紹介させていただきます。



※二次元バーコードを読み取り、アドレス入力などでメールできます



ふるさとへの軌跡

徳地と東大寺再建

～徳地から始まる「材木の道」～

(7) 源頼朝の支援

源頼朝が東大寺再建に向けて、並々ならぬ決意を示した重源宛の手紙が残っています。その内容について一部紹介します。

「---そして頼朝は、自分としては決して東大寺のことを疎略には思っていない。また後白河法皇の御意志もうけている。そのうえ、自分の脚下(家来)の佐々木史郎佐衛門高綱は、東大寺に好意をもっている人物であるから周防国よりの材木の運送にも協力してくれることであろう。そのほか、諸々の国々へも、使者を使わし国の行事として東大寺の再建に協力するように申しつけてある。----」(『大佛勧進ものがたり』:平岡 定海 著より引用)この手紙は、文治2年(1187)頃のもので、平家を打倒し、鎌倉幕府が成立した直後であり、東大寺再建を果たし自らの権力の安泰を図ろうとする頼朝の気持ちがよくあらわれています。

頼朝はまた、重源に対して米1万石、砂金一千両、上絹一千疋を寄進しています。

文治元年(1186)4月10日頃、重源は周防国に下向し、同月18日には徳地杣に入り杣事業を開始していますので、頼朝の支援は大変心強い支えになったことは間違いありません。杣事業の中心は、佐波川上流の三谷から柚木にかけてでした。

柚木方面で伐採した大木を梶畑まで運び、「一升埒」と呼ばれる峠に「ロクロ」をすえて太いロープを使い大木を引き上げ、さらに三谷川に向けて引き降ろしたのです。法光寺に伝わる安養寺縁起には、その様子が詳しく記されています。三谷に残る「六郎合」の地名は、その歴史の証拠となるものです。

建久2年(1191)、佐々木史郎佐衛門高綱は、頼朝から東大寺再建のための材木奉行に任命され、大仏殿の棟木を滑山で発見し、頼朝から高く評価されたという記録が残っています。そして「彼の一族原某なるものが三谷郷に居残って定住したので三谷郷に原なる姓が多いのは彼の末孫であるからに違いない。」(『重源上人足跡の地 桃源郷 徳地三谷』:山本茂著)というので三谷地域づくり協議会が平成29年9月に作られた資料(『徳地三谷奥谷の屋号』)を見てみると原姓が15軒も確認できました。三谷地区は、美しい棚田の風景が印象的な自然の中であって、今もなお当時の歴史の面影を残している素晴らしいところです。(執筆:吉松 桂二)



重源が木材搬出の指揮を執ったといわれる『聖岩』(筆者撮影)